

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

保健体育



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	保 健 体 育
-------	---------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい保健体育
大日本図書(株)	4	大日本	中学校保健体育
(株)大修館書店	50	大修館	最新 中学校保健体育
(株)Gakken	224	学 研	新・中学保健体育

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	2	東書	新編 新しい保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	生徒が興味・関心を引くような絵や写真等を活用し、自主的・自発的に学習できるように工夫されている。また、学びが広がるように QR コンテンツがあり、動画やシミュレーションなどにより学習内容を深められるようになっている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	発問に関連する資料を示すなど、生徒の学習の深まりに有効に働くように配慮させている。
	5 印刷・製本等	文字の大きさや行間など、生徒が読みやすく整えられている。キーワードなど、重要な文字は、ゴシック体にするなど、配慮がなされている。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 学習の流れを「見つける」「学習課題」「課題解決」「広げる」のパターン化されており、生徒の日常生活と関連づけた内容になっている。「課題解決」段階では、発問と本文や資料が関連付けられており、生徒が確実に学習内容を身に付けられる内容となっている。 (2) 1 年生では、スポーツに関わる人々として「する、見る、支える、知ること」でスポーツライフ実現に向けた多様な楽しみ方が示されている。2 年生では、スポーツの学び方の合理的な例を挙げ、個々の計画が立てられるようになっている。3 年生では、3 年間の学習を振り返り、自分に何ができるか考えられるようになっている。 (保健分野) (1) 「健康な生活と疾病の予防」では、体育分野や教科等との関連がわかりやすく工夫されている。 (2) ストレスへの対処として、巻末スキルブックに示しており、かつ、動画コンテンツで分かりやすく紹介している。 (3) 生活習慣病の予防では、自他の健康に関心がもてるように、考えを整理し、交流する活動を取り入れることができるようになっている。 (4) 全章に小学校の振り返りができる QR コンテンツがある。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	4	大日本	中学校保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	学習のねらいが明確に示されている。「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、生徒が考えを深める活動や対話的な活動につながるように工夫されている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	全単元において、全文エリアと資料エリアの見開きとなっており、全文エリアには、資料エリアの番号があり、関連性が示されている。
	5 印刷・製本等	全体的に印刷は鮮明であり、文字も読みやすい。キーワードなど、重要な文字は、ゴシック体にするなど、配慮がなされている。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 体力の向上に向けた学び方や安全な行い方などの例を示す資料があり、学習したことが実践しやすい構成になっている。 (2) 章の最後に、学習のまとめとして、〈重要な言葉〉を説明するページがあり、生徒がこの章で学習する大切な言葉が、理解しやすく説明されている。 (保健分野) (1) 応急手当の技能の学習では、心肺蘇生法の手順の全体の流れが一覧で示され、わかりやすく見られるように工夫されている。 ストレスの対処では、心と体の関わりについて深く学ぶページが設けられており、心と体の調和を保つために心掛ける内容が示されている。 (2) リンクとして、体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより他教科との関連も示されている。 (3) 各章末には、「学びを活かそう」があり、その章で学習したことをより深く理解するため課題を示し、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組むことができる内容になっている。 (4) 章扉では、小学校での既習事項と高校での学習内容を示し、校種間の学習がスムーズにつながるように工夫されている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	5 0	大修館	最新 中学校保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップ学習がパターン化されており、学習の見通しが立てやすいので、自主的・自発的な学習が促せるように配慮されている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	本文と資料の関連がわかりやすく示されている。挿絵の内容がきちんと読み取れるように色を工夫するなど、学習が深まるように配慮されている。
	5 印刷・製本等	印刷は鮮明であり、文字も読み取りやすい。キーワードなど、重要な文字は、ゴシック体にするなど、配慮がなされている。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 章のとびらでは、学習の始めにその章で学ぶことの見通しを持たせるため、学習内容を写真や資料から読み取りやすいように工夫されており、生徒が興味・関心を持ちやすい。 (2) 学習した内容を深められる工夫として、特集資料として、関連スポーツの紹介や体力向上のための計画の例が示されている。 (保健分野) (1) 「学習のまとめ」では、QR コードを読み込むと、自分の考えや学んだことを書き込むことができる Web ワークシートにアクセスができるようになっている。授業支援アプリで生徒用端末と電子黒板を連携させれば、それぞれの考えをクラス内で共有できるようになっている。 (2) 学習の振り返りとして、QR コードを読み込むと「保体クイズ」があり、確認問題を行うことができるようになっている。 (3) 章のまとめとして、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を評価する問題が設定されている。 (4) 体育分野と保健分野の関連を図るために、「関連」としてページを設けており、教科等の関連では、「他教科」と示しており、日常的に体育・健康に関する活動等が継続的に実践できるようになっている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	2 2 4	学研	新・中学保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	課題発見の場面では、短時間で学習課題に気づくように工夫がされている。課題解決に向けては、問題解決的な学習が重視されており、生徒が自主的・自発的な学習が進められるようになっている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	本文と挿絵や説明文などが、わかりやすい配置になっており、学習の深まりに有効に働くように工夫されている。
	5 印刷・製本等	印刷が鮮明で見やすい。大事なところはキーワードとして示し、字体もユニバーサルデザインフォントが使用されており、読みやすい。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 1時間の主な流れを「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」とし、挿絵や説明文が分かりやすく整理されており、課題解決に向けて、知識が確実に定着できるようになっている。 (2) 学習した内容を深められるように「探求しようよ!」のページがあり、文化としてのスポーツなど挿絵や写真を示し、わかりやすく工夫されている。 (保健分野) (1) シミュレーション教材として標準体重やストレスチェックなど個人生活における健康に関する課題を解決する視点が重視されている。 (2) 応急手当の技能を習得しやすい工夫として、止血法や心肺蘇生法など動画があることや外部リンクにより情報収集できるなど、デジタルコンテンツが活用できるようになっている。 (3) 章のまとめに、学んだことのキーワードや自己評価、確かめ問題など、生徒が学習を振り返るように工夫されている。 (4) 「がん教育」「防災教育」「感染症」「SNS」など、生徒の身の回りのさまざまな課題がわかりやすく整理されており、実生活につなげて学べるように工夫されている。